

官報

號外

明治二十五年十二月二日

金曜日 內閣官報局

○第四回衆議院議事速記録第二號

明治二十五年十二月一日(水曜日)午後一時七分開議

議事日程 第二號 明治二十五年十二月一日

午後一時開議

- 第一 辯護士法案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第二讀會
- 第三 鐵道公債會計法案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第二讀會
- 第五 官設鐵道用品資金會計法案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

○議長(星亨君) 諸君、是ヨリ開會致シマス

(水野書記官長朗讀)

清水文二郎君ヨリ鳥獸獵免許稅ノ件ニ付政府ヘ質問書ヲ提出セラレタリ
朝長慎三君、天竺伊左衛門君、福田久松君ヨリ府縣制改正法案ヲ「湯本義
憲君ヨリ木曾、澱、利根川三大川ノ治水ニ關スル建議案ヲ」鳩山和夫君、元
田肇君、山田泰造君、村松龜一郎君、關信之介君、丸山名政君ヨリ辯護士法案
ヲ「齋藤貞輔君、黒川修三君ヨリ官有林野ノ處分ニ關スル建議案ヲ」角田
眞平君、楠本正隆君、浮田桂造君、坂本則美君、竹村藤兵衛君ヨリ市制追加法
案、明治二十二年法律第十二號廢止法律案ヲ提出セラレタリ
豫算委員長ニ河野廣中君、同理事ニ齋藤圭次君、箕浦勝人君、片野東四郎君、
懲罰委員長ニ西川義延君、同理事ニ丸山名政君、請願委員長ニ高田早苗君、
同理事ニ鈴木萬次郎君、淺香克孝君、加賀美嘉兵衛君當選セラレタリ
片岡直温君外四名提出ニ係ル府縣監獄費國庫支辨ニ關スル法律案提出者中
ヘ中澤彦吉君、千葉胤昌君ヲ追加セラレタキ旨申出テラレタリ

○議長(星亨君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、デ、第一ニ諸君ニ御諮リ申スコト
ハ兵庫縣議員渡邊徹君ノ辭表ノ件デス、是ハ閉會中ニ辭表ハ差出サレマシタ、
例ニ依ッテ議長ハ留任ノ勸告ヲ致シマシタ、然ルニ尙ホモ止ムヲ得ヌコトデ辭
シタイト云フコトデ、依ッテ之ヲ諸君ニ辭表ノ可否ノ事ヲ御諮リ申シマスガ、
第一ニ辭表ヲ朗讀致シマス

(水野書記官長朗讀)

不肖徹儀儀ニ衆議院議員ノ席末ニ列シ爾來微衷ヲ竭シテ其任務ヲ全フセン

辭職願

衆議院議事速記録第二號

明治二十五年十二月一日

議長ノ報告 渡邊徹君辭表ノ件 豫算委員長本會議ニ缺席ノ件
總理大臣臨時代理井上內務大臣ノ演說

五

コトヲ期セリ、然ルニ圖ラスモ今回我カ居住セル地方ニ於テ、商業上一盛
衰ニ關スル事件ヲ生シ、一身ヲ委ネテ以テ之カ整理ニ當ラサルヲ得サルニ
遭遇セリ、願フニ進ンテ國政ニ參與スルト、退イテ一小地方ノ事件ヲ處理
スルトハ、其輕重固ヨリ同日ニ非スト雖モ地方ノ狀態亦誠ニ止ムヲ得サル
モノアリ、今ヤ議會ノ開期目下ニ迫リ、上下ニ對シ其任務ヲ盡サ、ルノ責
ヲ免レスシテ痛心措ク能ハサレトモ此際兩全ハ得難キヲ以テ一先ツ衆議院
議員辭職仕度候間宜シク御執成被下度依テ此段及出願候也
明治二十五年十一月二十三日

兵庫縣第二區選出衆議院議員

渡邊 徹

衆議院議長星亨殿

○議長(星亨君) 諸君ニ於テ御許ニナリマスカ、如何デゴザイマセウカ

(異議ナシ異議シナト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) ソレナラバ辭表ハ開居ケタト云フコトニ致シマス、尙ホ御
報道致シテ置キマスガ、今日豫算委員長ヨリ議長迄ノ通知デゴザイマスガ、
將來ニ於テ或ハ豫算會ノタメニ議場ニ出ルコトガ——議會ニ缺席スルコトデ
ゴザイマスガソレニ附イテ可否ヲ御諮ヒ申シタイ

(異議ナシ異議ナシト呼ブ聲起ル)

○議長(星亨君) 異議ナケレバ其通致シマス

(總理大臣臨時代理內務大臣伯爵井上馨君演壇ニ登ル)

○議長(星亨君) 一寸諸君、御存ジデゴザイマセウガ、井上內務大臣ガ演說
サレマス

○總理大臣臨時代理內務大臣(伯爵井上馨君) 諸君本大臣ハ今日當議場デ諸
君ト御目ニ掛ルハ、最モ職務上ノ光榮ト存ジマス

サテ本日ハ伊藤總理大臣ガ出席シテ、諸君ニ對シ親シク政府ノ方針ヲ述ベル
答デアリマシタガ、總理大臣ハ去ル二十七日不慮ノ怪我ヲ致シ、誠ニ輕カラ
ヌ容體ニテ何レ三四十日ハ掛カルデアラウト醫者モ申ス位デアリマシテ、既
ニ諸君ヨリモ鄭重ナル御見舞ヲ辱フシタル次第ニテ總理大臣自ラ出席スル
コトガ、出來マセヌハ御同様ニ遺憾ノ事ト存ジマス、然ルニ伊藤總理大臣ニ
ハ、豫テヨリ諸君ニ向ッテ述べヤウト思ヒ、政府ノ方針ニ關スル事柄ヲ筆記
シテ閣議ヲ經テ置カレマシタ、故ニ本大臣ハ此處デ其筆記ヲ朗讀致シマス、
諸君ドウゾ其御積リテ御聽取ヲ願ヒマス

諸君余等曩ニ至尊ノ大命ヲ恪ニ國務大臣タルノ重任ヲ辱クニ嗣後僅ニ數閱
月而シテ今ヤ本年議會ノ期ニ及ヒ政府將來ノ方針ヲ諸君ノ前ニ開陳スルコ

ト得ルハ余等ノ職務上ニ於テ殊ニ光榮トスル所ナリ

政府ノ大方針ハ内、憲法ノ條章ニ遵由シ、行政百般ノ機關ヲシテ憲法的ノ動作ヲ爲サシメ以テ益、其改善ヲ圖リ上ハ宏謨ヲ遵奉シテ國家ノ基礎ヲ鞏固ニシ下ハ人民ノ權利ヲ保全シテ其慶福ヲ増進シ外、列國ニ對シテ國光ヲ宣揚シ以テ其終局ノ目的ヲ達センコトヲ欲スルニ外ナラサルナリ

百般行政ノ改良ハ之ヲ言フヤ易シト雖モ其實行ヲ遂クルハ素ヨリ至難ノ業ナリ、然レトモ余等ノ庶幾スル所ハ其事業ノ至難ナルカ爲ニ因循苟且ニ付シテ止ムヘキニアラス苟モ國家ノ進運ヲ妨害スルノ虞アルモノアラハ斷シテ之ヲ排除シ以テ其整理ヲ企圖スルコトヲ躊躇セサルノ決心ナリ

凡ソ政務ノ改良整理ハ遠ク將來ノ利害ニ察スル所ナカルヘカラス故ニ其效果ヲ一朝ニ收ムルハ難シ必ス漸ヲ追フテ以テ奏效ヲ期セサルヲ得ス而シテ一國ノ事業ヲ經營スルハ固ヨリ上下協同ノ力ニ倚賴セサルヘカラサルナリ諸君幸ニ政府誠意ノ存スル所ヲ諒察セラレンコトヲ希望ス

今地球ノ全圖ヲ觀レハ寰宇國ヲ成スモノ星ノ如シ而シテ其國力ヲ養成シ内ハ百般ノ事業ヲ振作シ外ハ貿易通商ノ利ヲ競ハサルナシ輒近數十年ノ間各國多少ノ軋輾紛擾ナキニアラスト雖モ其大勢ニ於テ互ニ泰平ヲ裝ヒ務メテ修交ヲ敦フス若シ眼光ヲ轉シテ他ノ一方ヲ觀レハ則チ國力ノ限リヲ盡シテ兵備ヲ完實シ以テ各、自衛ノ道ヲ講セサルナキヲ知了スヘキナリ蓋シ宇内

歷史アリテ以降今日ノ如ク兵備ノ旺盛ナルハ前古未タ其比ヲ見サル所ナリ本邦ノ如キ殊ニ兵備ノ急要アリテ而カモ海軍ノ擴張ハ其急中ノ急ナルモノナリ抑、海軍擴張ノ事タル之ヲ陸上ニ於ケル防備ニ比スルニ事實上及經濟上ニ於テ至難ノ業ナルヲ見ルト雖モ亦國勢上實ニ一日ヲ緩クスヘカラサルノ最急務ナルヲ信ス故ニ政府ハ本年ノ豫算ニ於テ海軍擴張ノタメ船艦製造費トシテ巨額ノ支出ヲ要求シ以テ功ヲ數年ニ期セントス政府ハ諸君ノ國家

ノ大計ヲ念フテ之ニ協贊セラレンコトヲ希望セサルヲ得ス外交ノ事ハ舊ニ依テ益、輯睦ヲ加フ吾人ハ内ニ於テ百政ノ釐正ヲ努ムルト同時ニ於テ外ニ對シテ多年期望セル條約改正ノ大業ヲ決行セサルヘカラサルハ更ニ多言ヲ要セスト雖モ此問題タル殊ニ慎重ヲ要ス故ニ維新以還ノ宿望ヲ達セント欲セハ余等ハ先ツ國民ノ意向ヲ歸一ニスルノ必要アルヲ知ル而シテ之ヲ略言セハ條約改正ノ主要ハ凡ソ國トシテ有スヘキノ權利ヲ得凡

ソ國トシテ盡スヘキノ義務ヲ完クスルニ在リ政府ハ國家ノ進運ヲ計リ國民ノ負擔ニ付經濟上多少ノ變更ヲ施スノ要アルヲ察シ、此ニ農民ノ負擔スル田畑ノ地價ニ於テ偏重失衡ノ甚シキモノヲ低減セントス、抑、地價ノ均一ヲ缺ケルハ獨リ民間ニ於テ物議アルノミナラス

政府ニ於テモ亦夙ニ其偏重アルヲ憂ヒ常ニ其調査ヲ怠ラサリシ、而シテ今ヤ其結果トシテ將ニ之ヲ決行セントスルノ機運ニ逢遇シタリ蓋シ各地風土同シカラス運輸交通ノ便否、土壤ノ肥瘠、物價ノ高低、勞力ノ多少等皆異同アリ其收穫スル所ノ多寡亦之ニ隨フヲ以テ到底完全ノ平衡ヲ得ルノ難キハ

又衆論ノ趨歸ヲ一ニスル所タルニ拘ラス全國ヲ通シテ殊ニ偏重失衡ノ甚シキ其負擔ニ堪フヘカラサルモノハ早晚之ヲ救治セサルヘカラス唯タ之ヲ決行スルニ於テ國家ノ生存ニ必要ナル國費ヲ減削スル能ハサルヲ以テ勢ハ彼ニ減スル所アレハ則チ此ニ増ス所ナルヘカラス則チ歲計上不足スル所ハ他ノ歲入ヲ増加シテ以テ之ヲ補充セントス是レ國計上復タ止ムヲ得サル所ナルヲ信ス

其他全國巨川ノ河身改築堤防修築等ノタメニ現在國費ヨリ支出スル金額ハ實際ノ需要ニ足ラズ隨テ修レハ隨テ壞レ徒ニ目前ノ小工事ニ罷礙シテ奏功ヲ期年ノ後ニ成スノ大計畫ナシ仍テ是等國家ノ急要ニ應スル費額ノ支出モ豫メ規定セサルコトヲ得ス其詳細ノ說明ニ至テハ時機ヲ待ツテ主務大臣應ニ躬ヲ辯明スル所アルヘシ

諸君余ハ終ニ臨ミ特ニ諸君ノ清聽ヲ請ハントスル一事アリ吾人日本國民ハ祖先以來忠君ノ志厚ク其國ヲ愛シ其公ニ奉スル心ニ富ムハ光輝アル帝國ノ歷史ニ明徴スヘキナリ而シテ維新中興ノ後僅ニ二十餘年ニシテ長足進歩セルコト夫レ此ノ如ク又其成績ノ見ルヘキモノ此ノ如ク顯著ナルハ宇内列國ノ與ニ歎稱措カサル所ニシテ深ク其事業ヲ探究スル所トキハ吾人自ラ驚喜ニ堪ヘサルモノアリ、然リト雖モ國家カ國民ニ望ム所ノモノ亦決シテ此

ニ止ラス、吾人ハ進デ國力ヲ發達シ國威ヲ宣揚シ以テ維新中興ノ宏謨ヲ成就セサルヘカラサルコト即チ是ナリ諸君試ニ地圖ヲ展ヘテ萬國ノ形勢ヲ看一看セヨ人口四千万ヲ有シ而カモ其國民ハ忠實義勇僅ニ二十年餘ノ間ニ於テ大ニ國威ヲ恢弘シ宇内ノ強國ト相

駢進スルコト本邦ノ如キモノ果シテ安クニ在ル乎、吾人ハ生レテ此盛時ニ逢フ至幸何モノカ之ニ加ヘンヤ、宜ク國家ノ進運ヲ補ケ國家ノ地位ヲ高クスルヲ以テ自任セサルヘカラス而シテ之ヲ爲ス唯タ上下協同ノ力ニ憑ラサルヘカラサルハ既ニ上ニ敘述シタルカ如シト雖モ今忠誠ナル諸君ニ告グル

ニ此事ヲ以テスルハ一片ノ微衷自ラ禁スル能ハサルアレハナリ諸君我帝國議會ハ天皇陛下ノ立法上ノ詢謀府ナリ而シテ諸君ハ國民ノ輿望ヲ荷フテ吾人カ惟一ノ目的ナル國家ノ休戚ニ關スル各般ノ問題ヲ公議スルノ地位ニ居ル者ナリ余カ今更ニ之ヲ言フハ敢テ他意アルニアラス凡ソ立

憲國家ニ於テ必要缺クヘカラサル議會ハ實ニ宇内各國ノ瞻望スル所其國威ノ消長國權ノ伸縮ヲ品評セラル、所ナルヲ以テナリ余等至尊ノ大命ヲ遵奉シテ帝國ノ議會ニ莅ミ政府ノ方針ノ概要ヲ茲ニ開陳スルコトヲ得タルハ余等ノ最モ欣榮トスル所ナリ

唯今讀ミマシタガ即チ政府ノ方針デゴザリマシテ、政府ハ將來此方針ヲ執ッテ進ミ行キ、諸君ノ誠實ナル協贊ヲ待ッテ立憲政治ノ圓滿ナル運行為望ムモノデアリマス、何レ其中ニハ總理大臣ニモ全快ヲ致シマシテ、當議場諸君ト御目ニ掛ルコトデゴザリマス、本大臣等モ諸君ト共ニ一日モ早ク其時ノ至ラ

○郡保宗君(二百一番) 唯今内務大臣ヨリ總理大臣ノ代理トシテ、施政ノ方針ヲ御朗讀ニナリマシタ、併ナガラ書面テ御朗讀ニナタノデハ、詳細ノ事ヲ耳ニスルコトハ出来マセヌ、ソレ故ニドウゾ口頭ニ於テ十分御陳辯アラシコトヲ希望致シマス

(此時議長々々ト呼ブ者アリ)

○高須峯造君(二百五十五番) 私ハ此……

○議長(星亨君) 二百五十五番一寸御待ナサイ、今頻ニ議長々々ト言ハレマスルガ、番號ヲ言ハヌケレバ分リマセヌカラ

○清水文二郎君(二百八十六番) 二百八十六番

○議長(星亨君) 宜シイ後デ……

○高須峯造君(二百五十五番) 私ハ此衆議院規則ニ附イテ、疑ガゴザリマスカラ、議長ノ御意見ヲ承リ、尙ホ滿場ノ意見ヲ極メテ置キタイト考ヘマスカラ、一應申シマス、此衆議院規則ノ第二百二十二條ニ據リマスレバ、會議ニ於テ意見書若クハ理由書ヲ朗讀スルコトハ出来ヌト云フコトニナツテ居リマス、是ハ此議員ノミニ適用スベキモノデアツテ、國務大臣ノ此當議場ニ於ケル發言ニハ、適用スルコトハ出来ナイモノデゴザリマセウカ、本員ノ考フル所ニ依レハ、國務大臣ト雖モ此議場ニ出席ラシテ演說ヲ致シマスル以上ハ、矢張此衆議院規則ノ制裁ヲ受ケナケレバナラヌモノト信ズルノデアリマスガ、是ハ唯議員間ノ規則デアツテ、國務大臣ニ適用ノ出来ヌモノデアルト云フナラバ致方ガナイガ、(此時栗谷品三君其通ダト呼ビタリ) 若シサウデナクシテ、矢張此議場ニ於テハ國務大臣ト雖モ此規則ヲ守ラナケレバナラヌト云フモノナラバ、唯今ノ朗讀ハ甚ダ違法ノ發言ト本員ハ信ズルノデゴザリマス

○議長(星亨君) 二百五十五番一寸申シマスルガ、議長ノ意見ハドウデア

ルカト云フコトデアリマスカ

○高須峯造君(二百五十五番) 議長ノ御意見竝ニ議場ニ御問ヲ願ヒマス

○議長(星亨君) 先ツ議長ノ意見ヲ問フト云フコトデアリマスカ

○高須峯造君(二百五十五番) ソレデハ先ツ議長ニ御問ヲ願ヒマス

○議長(星亨君) 議長ニ問フト云フコトハ、動議デ起シタノデゴザリマスカ

○高須峯造君(二百五十五番) 動議デゴザリマス

○議長(星亨君) サウスルト先ツ第一ニアナタノ事ハ議場ニ問フコトハ出来

ナイ、ナゼト云フモノハ、議院規則ノ疑議ト云フモノハ議長ガ決スル、或ハ議長疑ガアツタラ、議長ニ問フコトガ出来ルト云フコト式ガアリマスカラ、議

長ハ若シ疑ガアツタラ議長ニ問ヒマス、無ケレバ問ヒマセヌ、ダカラシテ議

長ニ御問ニナリマスレバ、議長ガ答ヘマス、ソレハ第一百十七條ニ其事ハ議院

規則ノ疑議ハ議長之ヲ決ス、但議長ハ議院ニ問ヒテ之ヲ決スルコトヲ得トア

リマス、議長ニ御問ニナリマスナラバ、議長ハ御答致シマス

○高須峯造君(二百五十五番) ソレナラバ議長ノ御意見ヲ伺ヒマス

○清水文二郎君(二百八十六番) 唯今總理大臣ノ代理即チ伊藤馨君ガ(笑聲

起ル)……能ク似テ居ルカラ間違ッタ井上馨君ガ總理大臣ノ代理トシテ演說

ヲセラレタ、其朗讀ハ長タラシクテ、中々分ラナイ、故ニ此方針ハ如何デア

ルカト云フコトヲ宜シク説明セラレタシ、之ヲシテ小學校ノ演說トシタナラ

バ、或ハ喝采ヲスルモ國務大臣ノ演說トシテハ、吾々ハ我國ノタメニ惜ムナ

リ、宜シク本會ニ向ツテ、明瞭ニ其理由ヲ演ベラレタシ

○議長(星亨君) 意味ガ分リマセヌガ、ドウシタラ宜イデスカ

○清水文二郎君(二百八十六番) 再應出テ、宜シク此方針ノ理由ヲ貫徹スル

ガ如ク、小學校生徒ノ朗讀演說ノ仕方デナク、斯様ナル方針デアルト云フコ

トヲ明々白々、明瞭ニ本會ニ述ベラレタイト云フコトガ議長分ツタカ(笑聲

起ル)

○議長(星亨君) 分リマシタ……、七十八番

○井上角五郎君(七十八番) 本員ハ、唯今井上臨時總理大臣ノ演說ニ對シ

テ、種々御議論アル様デゴザリマスガ、現ニ維新以來ノ元勳ガ集ツテ、新規

内閣ヲ拵ヘタ、其内閣ガ始テ出テ方針ヲ示シタト云フニ就イテハ、諸君ハ寧

ロ此際ハ旅ビオドケラシク騒ガシク此事ヲ非難シテ見タリ、攻撃シテ見タリ

シナイデ、勿論明日ハ速記録デ見ラレモスルト云フコトデアルカラ、清水君

ノ如キ郡君ノ如キ御說ノ此際出ルノハ餘リ面白クナイト考ヘマス、高須君ノ

御議論ノ如キハ、議長ノ決スル所ガアルト思ヒマスガ、彼ハ會議ニ於テ朗讀

スルコトガ出来ナイト云フノデ議長ニ於テ朗讀スルコトガ出来ヌト云フノデ

ナイ、會議ニ於テ朗讀スルコトヲ得ヌト云フノデ、是ハ能ク注意ヲシテ見タナ

ラバ朗讀シ得ルト云フコトハ明白ナコトデアル、何事ニ於テモ是等ノ事ニ就

イテ議長ヲ騒ガスノハ、元勳諸君ガ集ツテ、拵エラレタ新内閣ニ對シテノ初テ

ノ御手合トシテハ、面白クナイト考ヘマスカラ……

○議長(星亨君) 第一ニ二百五十五番デスカ、三番デスカ、——五十五番ノ

議長ノ意見ハドウデアルト云フコトヲ御話致シマス、議長ハ議院規則ノ——衆

議院規則ノ百二十二條ト云フモノハ意見書、又ハ理由書ヲ朗讀スルコトハ出来

ナイ、或ハ之ヲ政府ノ委員トカ大臣等ニ用フベキモノデアルカナイカト、云

フ様ナコトハ決スルノ必要ガナイ、此百二十二條ハ意見書ト理由書ヲ朗讀スル

コトハ、出来ナイト云フノハ、其人ノ意見書理由書ヲ朗讀スルコトガ出来ナ

イト云フコトデアツテ、決シテ他ノ人ニ係ル、——今日ノ如キ伊藤總理大臣ガ、

即チ不慮ノ負傷ヲサレタ如キ有様ニ於テ、其人ノ言フコトヲ此處ニ朗讀ハ出

來ナイト云フ意味トハ、議長ニ於テハ解釋致シマセヌ、ソレデハ今此内務大臣

井上君ガ此總理大臣ノ意見ヲ朗讀スルコトニ於テハ、此條ノ關係スル所デナ

イト議長ハ考ヘマス

○田中正造君(百四番) 百四番ハ其井上君ノ御叱ヲ受ル様ナ混雜ヲスルノデ

ナイ、總理大臣ニ代テノ演說ノ中ニ就イテ、盡ク覺エテ居リマセヌケレドモ

耳ニ止リマシタ所ノ廉ニ就イテ、御質問ヲ致シマスノデアリマス

(田中正造君演壇ニ登ル)

○田中正造君(百四番) 唯今……

○議長(星亨君) 注意シマスガ何レ説明ヲ求メルノデスナ、質問ト云フト

○田中正造君(百四番) 唯今ノ總理大臣ノ演説デモ先ツ朗讀デモトッテモ宜イ、ソレデ唯今井上君カラ忠告ノアル通、明日ハ速記録ガ出來ル、出來ルガタメニ仕事ヲ廻ハスコトハ大層宜シイコトデアアルカラ、ソコデ一二説明ヲ求メテ置カフト思フデ、唯今御朗讀ニ成リマシタ中デ、私が聽淺シマシタカハ知レマセヌガ、諸君ノ中デ御聽取ノ方ガアラバ早ク言フテ下サルヤウニシタイデスガ、今ノ總理大臣ノ御認メニ成ッテ御詞タト云フ此演説ノ起草ノ中ニハ、去ル十八年ノ此各省事務整理綱領ト云フモノ、趣意ノコトガ、御忘レニ成ッテ居ルヤウデスはハ或ハ近頃ノ御不幸ノコトモアルカラ、色々取込ニテ御忘レニ成ッタカハ知ランガ、此趣意ハドウシテモ此總體ノ議論トシテナケレバナラヌ議論デアアル、此事ガナイヤウデアアルデ、其十八年ノ綱領モ今日各省事務(無用ト呼ブ者アリ無用デナイト呼ブ者アリ)何ガ無用ダ……

○議長(星亨君) ドウカ人ノ發言ダケハ聽イテ貰ヒタイデス

○田中正造君(百四番) 其趣意書中ニ明治六七年ヨリ官吏ノ員數ヲ概算スレバ、大凡十分ノ六ヲ増加シテ居ルト云フコトガアル、是ハ明治十八年ノコトデス、明治十八年ハ如何ナル官吏ノ數デアッタカト云ヘバ、大凡四萬人デアアル、其一年、前年ハドウデアッタカ、即チ三萬六千人デアアル、其三萬六千人ノ時ノ官吏ノ月給ハ十三圓八十二錢ノ平均額デアアル、明治二十三年ニ至ッテハ六萬六千人ト官吏ガ増加シテ居ッテ、其給料ノ平均額ハ二十九圓三十一錢ト倍以上ニ成ッテ居ル、既ニ十八年ニ於テ總理大臣ハ此事ヲ御心附ガアッテ、勿論十八年カラ是マデ物變リ時移ッテハ居リマスケレドモ、今日ト雖モ左様ニ政府ノ方針ト云フモノガ變ルモノデハナイノデアアル、然ルニ此事ガ少シモ唯今御朗讀ニ爲ッタ中ニハ見エナイヤウニ思ハレル、モウ一ツハ、如何ナル政府ト雖モ實際行ヒ得ベカラザル點モ、民力休養ト云フ文字ハ、常ニ是ハ忘レテ成ラナイノデアアルガ、是亦此文字ハ唯今御朗讀ニ成ッテ居ル中ニ無イノデアアル、然ルニ(井上角五郎君地價修正ノ文字ガアルヨト呼ブ)

地價修正ハ民力休養ト云フコトデハナイ(粟谷品三君其通ト呼ブ)ソレデ其又朗讀ニ爲ッタ中ヲ見ルト云フト、多年通商ノ利ヲ爭フト云フコトガアル、此海運ノ事ニ就イテ多年通商ノ利ヲ爭フト云フコトガアルガ、今日ノ商船即チ商賣船ガ幾ラアッテ、海軍ニ對スルドレダケノ働ガ出來ル、出來得ルト云フコトガナイ、先ヅソウ云フコトハソレデ宜シイ、ソコデ兵備ガ急ダト言フガ、目下如何ナル國ガ我邦ニ寇ヲナシ、如何ナル國ガ我邦ニ迫ル敵國ト云フコトヲ明記シテナイ、(笑聲起ル)各省ノ方針ヲ代理シテ御説キニ爲ッテアルガ、先ヅ文部ノ事カラ申シマセウ、文部ノ事ニ就イテ檢閲ノコト漏レタト云フ事件デハ大木ト云フ人ガ云々ト云フコトハ新聞ニアル、是等ノ事ハドウ處置スルノカ、又農商務ノ事ニ就イテハドウスルノデアアルカ、北海道ハ此ノ如ク亂暴ニシテ置イテ、ソウシテ一方ハ海軍ヲ擴張スル敵國カ畏ワイ敵國ガ云々ト云フ、軍備ヲ拵ヘルノハ急務ダト云フガ、先ヅ内地ノ北海道ノ有様ハドウスルノデアアル、北海道ヲ固メルノガ先キデアアルガ、此邊ノ處ガ少シモ大

體ニ於テ説明ガナイ、内務ノ事ハドウスルノデアアル、選舉干渉ヲシタ、人殺シヲシタト云フ人ガ、天下ニ横行シテ居ルノデアアル、此處置ハドウスルノデアアル、地價修正ハ最モ憂ヘテ居ル、憂ヘテ居ル所デハナイ、山口縣デハ地面ヲ隱シテ居ッテ、今ニ租稅ヲ納メヌ地面ガ澤山アルノデアアル、デソウ云フコトヲ即坐ニハ出來ヌ、又早晚ヤルダラウト緩慢ナル演説ノヤウニ聽イテ居ル、其他先ヅ種々ノ説明ヲ請フコトモアルガ、其他ハ井上君ノ御忠告ノ如ク速記録ヲ見テ、能ク又説明ヲ請フヤウニ致シマセウ、兎ニ角十八年ノ各省事務整理綱領ト云フモノ、中ノ事ヲ、悉ク御忘レニ成ッテ居ル様ナ譯デハ甚ダ困ルノデアアル、果シテ御忘レニナッタナラバ宜シイ、御忘レナラバ更ニ其事ヲ御述ニナッテ宜シイ、若シ何モ彼モ前議ハ取消ス、最早方針ハ變ッタリ、矢張松方内閣ト伯仲スルモノデアアル、五十歩百歩ノモノデアアルト云フコトデアレバ、其積リニ吾々決心シナケレバナラヌカラ、此點ニ向ッテハ御忘レニ成ッタノデアアルカ、將タ御承知ノ上デアアルカト云フコトヲ、明日迄……、イヤ唯今悉ク宜シク御明答アラソコトヲ希望シマス

(此時郡保宗君發言ヲ求ム)

○議長(星亨君) 今渡邊君ニ發言ヲ許シマシタカラ、少シ御待チ下サイ

(大藏大臣渡邊國武君演壇ニ登ル)

○大藏大臣(渡邊國武君) 諸君、第四回帝國議會ノ開カル、ニ方ッテ、本官ハ職ヲ財務ニ奉シテ諸君ト見ルハ榮トスル所デアリマス、而シテ我帝國ノ財政上ニ關スル意見ヲ陳述シテ諸君ノ考案ニ供スルコトハ、職掌上必要ノ事ト考ヘマスカラ、就イテハ意見ノ要點ヲ二ツニ分ッテ辯明致シマス、第一ニハ財政上目下ノ現況、第二ニハ財政上將來ノ計畫デアリマス、第一ニ財政上目下ノ現況ハ前年度ニ比シマシテ、著シキ進歩ヲ見ルト云フコトニハ參リマセンガ、漸次ニ發達改良ノ方針ニ向ッテ進デ居ルコト、考ヘマス

前年以來政府デ計畫致シマシタ國債整理即チ低利ノ公債ヲ募ッテ高利ノ公債ヲ銷却致ス事業ハ、追々運ビマシテ特約アルモノヲ除キマシテハ、七朱利付ノ內國公債ハ業ニ既ニ全ク五朱利付ノ公債ニ變リマシテ、六朱利付ノ內國公債モ漸々ニ整理ニ就イテ、今ハ餘ス所ハ二千七百萬餘圓ナラデハナイ譯ニナリマシタ、之ガタメニ國債利子デ國庫ノ負擔ヲ減ズルコトガ二百五十萬圓以上ニ成ッテ居リマス、

前年度即チ明治二十四年度會計ノ結果ハ此頃提出致シマシタ豫算案ニ添フテ居リマスル、現計畫書ニアリマスルカラ、詳細ニ御了知ニナッタコト、考ヘマシラガ、當年度歲計ノ結果ニ於キマシテハ、歲入ノ歲出ニ超過スルコト五百五十四萬餘圓ニナリマス、又本年度歲計ノ現況ヲ見マシムニ、歲入豫算ガ八千五百四十一萬餘圓ノ内デ本年ノ十月三十一日迄七箇月間ノ實際收入ハ四千六百八十七萬餘圓ニナリマス

此他本年度外國貿易ノ景況ハ御承知デモアリマセウガ、近年無比ノ好都合デアリマシテ、各稅關カラ報ジテ參リマシタ所ニ據リマスルト、本年一月カラ

十月マデ十箇月間デ輸出入ノ原價ハ、總額ガ一億三千六百三十三萬餘圓ニナツテ居リマシテ、輸出ガ輸入ニ超過シテ居ルコトハ、千四百九十一萬餘圓ニナツテ居リマス、是ガ先ヅ金ヲ取入レタ道理ニナツテ居リマス

第二ニ財政上將來ノ經畫ニ就キマシテハ、今般提出致シマシタ所ノ總豫算案デ大要ヲ御了知ニナツタコト、考ヘマスルガ、明治二十六年度ノ總豫算案ニ掲記シテアリマスル歲入額ハ八千五百八十三萬餘圓、歲出額ハ八千三百七十五萬餘圓、歲入ノ歲出ニ超過スルコト二百七十七萬餘圓ニナツテ居リマス、各款項ノ説明ハ姑ク他日ニ譲リマシテ、今財政上將來ノ經畫ノ大體ニ就イテ御話ヲ致シマスルニ附イテ、之ヲ三段落ニ大別シテ御話ヲ致シマス

第一ニハ國防軍備ニ關スル財政經畫、第二ニハ國民經濟ニ關スル財政經畫、第三ニハ國庫ノ財源ニ關スル財政經畫、第一ニ國防軍備ヲ擴張スル政策ノ一端ト致シマシテ、明治二十六年度ノ總豫算ニハ、從前ノ繼續費ニ係ツテ居リマス砲臺建築費連發銃製造費等ノ外、新ニ總額デ千六百八十餘萬圓ヲ以テ七箇年ヲ期シマシテ、我海軍ノ中堅トモ爲ルベキ甲鐵艦ヲ二隻新造スル經畫ヲ致シマシタ、又歲計剩餘金ノ内二百七十五萬圓ヲ以テ巡洋艦報知艦各一隻ヲ新造スルノ經畫其他種々海陸軍ノ内デ經畫ヲ立テマシタ、此必要缺クベカラザル譯ハ、他日海軍大臣ヨリ説明セラル、ト存ジマスルカラ、本官ハ喋々致シマセヌ

第二ニ國民經濟ノ發達ヲ圖ル政策ノ一著手ト致シマシテ、政府ハ先年以來經畫シテ居リマシタ治水事業ヲ今一步ヲ進メマシテ、既定ノ年割額ノ外治水費ニ於テ凡ツ百萬圓ヲ増額スルコトヲ經畫致シマシタ、又歲計剩餘金ノ内五十四萬餘圓デ、來ル明治二十八年ヲ期シテ西京ニ內國勸業博覽會ヲ開設スル等ノ計畫ヲ定メマシタ、其外ニ又近來財政上ノ一問題トナツテ居リマス、田地價特別修正ニ就イテハ、第三回帝國議會ニ於テ、當院ノ決議トシテ政府ニ向ツテ建議セラル、所モアリマシテ、今ヤ政府モ亦其必要ヲ認メマシテ、百方實際施行ノ方法ヲ考查致シマシテ、這回田地價特別修正法案ヲ提出シテ、全國中偏重ナル地租ヲ負フテ居リマスル所ノ部分ニ向ツテ田地ノ地租ニ於テ、凡ツ三百七十五萬圓ヲ輕減スル經畫ヲ立テマシタ(拍手起ル)

第三ニハ、國庫財源ノ不足ニ關スル財政經畫ハ、前ニ申シマシタ如ク、海軍軍艦ノ製造、田地價特別修正、治水費增加杯ノコトヲ、皆駢行フテ致シマスルニ當リマシテ、國庫ノ歲入上ニ參考致シマスルニ、ドウ致シマシテモ凡ツ二百七八十萬圓ノ不足ヲ生シマスル概算ニナリマスルデ、政府ハ此不足額ヲ補充スルタメニハ、先ツ人生ノ必要品デナイ酒、烟草ノ稅率ヲ増シ、又先ツ財產アル人ノ負擔ニ歸スル、所得稅ノ階級ヲ改メルノヲ適當ノ處分ト認メマシテ即チ田地價特別修正法案ト共ニ酒造、烟草所得三稅ニ關スル、各種ノ改正法案ヲ提出シテ諸君ノ協賛ヲ求ムルコト、致シマス、而シテ此等各種ノ

改正法案ハ、一齋ニ相聯關シテ居ルモノデアリマスルカラ、願クハ彼此相待ツテ議決セラレンコトヲ望ミマス

然ルニ前ニ申シマシタ各種ノ財政法案ヲ施行致シマスルニハ、自ラ調定準備ノ順序ガ、アリマス、例ヘハ地價特別修正ヲ致シマスルニモ取調ノ間ニ一年位ハ歲月ヲ借サネハナリマセヌ、故ニ實行ノ結果ヲ見ルハ、ドウシテモ明治二十七年年度ヨリノ歲計上デナケレバ見ルコトハ出來マセヌ、故ニ明治二十六年度ノ豫算案ニハ、海軍々艦製造、第四回內國勸業博覽會杯ヲ組入レテ歲計上ノ剩餘ヲ見ル所ハ、二百餘萬圓デアリマス、是ハ近來、連年打續キマシタル非常災害ノタメニ痛ク基金ヲ失ヒマシタ、中央備荒儲蓄金ノ内組入レル經畫ヲ定メマシテ、是モ亦別ニ法案ヲ提出致シマシテ法案ノ通過ヲ待ツテ追加豫算トシテ、協賛ヲ求メマスルコト、致シマス

其他ニ明治二十五年年度ノ總豫算追加案ヲ提出シテアリマス、要求額ハ二百二萬餘圓デアリマス、是ハ法律ノ結果法律上政府ノ義務、若クハ臨時非常ノ災害ガ起ツテ何レモ、必要已ムベカラザル費用デナイノハ、ナイデアリマス、併ナガラ、到底現在ノ豫備金デ支辨スルコトノ出來ル譯デアリマセヌ、故ニ追加豫算トシテ、協賛ヲ求メマシタ所以デアリマス

尙ホ其他ニ一言致シテ置キマスルノハ、本年七月德島、岡山、兵庫等ノ各縣ニ起ツタ、水災ニ就イテ道路、堤防、橋梁杯ヲ痛ク破損致シマシテ、何分一地方ノ民力デ、回復スルコトガ出來ル譯デアリマセヌカラ、不日該地方ノ水災土木費補助費ト致シマシテ、大凡デアリマスガ、四百萬圓前後ヲ、追加豫算ト致シマシテ要求致シマスル、見込デアリマス、而シテ此等ノ追加豫算ノ財源ハ、前年度以來ノ歲計剩餘金ノ内デ以テ、支辨ガ出來ル計畫ニナツテ居リマス

諸君、我帝國ノ財政上ノ目下ノ現況ト、將來ノ經畫ハ大要斯ノ如クデアリマスガ、本會期ニハ、內閣交迭以來至ツテ時期カ切迫致シテ居リマシタカラ、政府ハ財政上ニ於テモ、實ニ急務中ノ急務ノミヲ舉ゲルニ過キヌデアリマス、本官ハ諸君ガ厚ク審議ヲ竭サレテ這回提出致シマシタ豫算案並ニ各種ノ財政法案ニ向ツテ協賛セラレンコトヲ希望致シマス

○兒玉仲兒君(百十九番) 本員ハ曩ニ井上內務大臣ノ演說サレマシタ中ノ或箇條ニ就イテ、意見ヲ申述べタイコトガゴザリマス

○議長(星亨君) 説明ヲ請フノデアリマス

○兒玉仲兒君(百十九番) 御演說中ノ或箇條ニ對シテ、申述べタイ意見ガアリマス(無用々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) ドウデアリマセウ、説明デナケレバ其席ニ著イテ居ツテ仰アツテハドウデスカ、説明ヲ請フト言フナラバ構ハナイ

○兒玉仲兒君(百十九番) 內務大臣井上伯ノ御述ニナリマシタ中ノ、地價特別修正ノ箇條ニ就イテ、申述べタイ箇條ガゴザリマス

○議長(星亨君) 申述べタイト云フノハ反對デアリマス

○兒玉仲兒君(百十九番) 反對デハナイ、ツレニ對シテ政府ニ希望ヲ述べ、併

テ此議場ニ希望ヲ述ベタイノデアリマス

○議長(星亨君) ドウデアリマセウ、ツレハ今迄例ノナイコトデアリマス、説明ヲ請フト云フコトデナケレバ、其事ガ議題ニナツテカラデナケレバ、都合ガ惡ルイ様ニ思ヒマス、ソウデナケレバ皆總理大臣其他ノ演説シタ人ニ就イテ、ツレニ附加ヘテ種々言フコトニナルト、殆ド議場ノ整理ガ出來ナイ様ニナリマスデアリマスカラシテ、説明ト云フコトデ、説明中ニ其意ヲ含メルナラバトモアレ、獨立ノ事デハ

○議長(星亨君) ツレナラバ、獨立ノ事トシテ、今迄例ガゴザリマセヌ、議場デ許スナラバ格別、議長ニ於テハ許シマセヌ

○議長(星亨君) 甚ダ此問題ニ就イテ一日モ早ク希望ヲ陳ベテ置キマセヌト

○議長(星亨君) ドウデス……

(無用々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) 議場ノ御許ヲ被リマシテ、手間ハ取レマセヌコトデアリマスカラ、少シノ時間ヲ……

○議長(星亨君) 何か動議ヲ御出シニナルトカ何ントカシテ、ツレニ就イテ御議論ガアルナラバ、議場ノ整理上ニ都合ガ宜イガ、サウデナクシテ獨立ノ事トシテハ、今迄ノ例トシテ許スコトハ出來マセヌ

○議長(星亨君) 然ラバ私が引續キマシテ動議ヲ提出致シマス

○議長(星亨君) 宜シイ

(兒玉仲兒君演壇ニ登ル)

○議長(星亨君) 緊急ノ動議カ何カ聽カナケレバ、或ハ議事日程ヲ變更シケレバナラヌ様ニナルカモ知レマセヌカラシテ、一寸簡單ニ、ドウ云フ動議デアルト云フコトヲ言ッテ、動議ヲ決議シタ上デ、大體ノ主意ヲ述ベラレシコトヲ望ミマス、ドウ云フ動議デ緊急ノ動議ニナルト云フ主意ヲ、御述べ下スツタラバ宜シカラウト思ヒマス

○議長(星亨君) 緊急ノ動議カ何カ聽カナケレバ、或ハ議事日程ヲ變更シケレバナラヌ様ニナルカモ知レマセヌカラシテ、一寸簡單ニ、ドウ云フ動議デアルト云フコトヲ言ッテ、動議ヲ決議シタ上デ、大體ノ主意ヲ述ベラレシコトヲ望ミマス、ドウ云フ動議デ緊急ノ動議ニナルト云フ主意ヲ、御述べ下スツタラバ宜シカラウト思ヒマス

○議長(星亨君) 緊急ノ動議カ何カ聽カナケレバ、或ハ議事日程ヲ變更シケレバナラヌ様ニナルカモ知レマセヌカラシテ、一寸簡單ニ、ドウ云フ動議デアルト云フコトヲ言ッテ、動議ヲ決議シタ上デ、大體ノ主意ヲ述ベラレシコトヲ望ミマス、ドウ云フ動議デ緊急ノ動議ニナルト云フ主意ヲ、御述べ下スツタラバ宜シカラウト思ヒマス

○議長(星亨君) 緊急ノ動議カ何カ聽カナケレバ、或ハ議事日程ヲ變更シケレバナラヌ様ニナルカモ知レマセヌカラシテ、一寸簡單ニ、ドウ云フ動議デアルト云フコトヲ言ッテ、動議ヲ決議シタ上デ、大體ノ主意ヲ述ベラレシコトヲ望ミマス、ドウ云フ動議デ緊急ノ動議ニナルト云フ主意ヲ、御述べ下スツタラバ宜シカラウト思ヒマス

○議長(星亨君) 緊急ノ動議カ何カ聽カナケレバ、或ハ議事日程ヲ變更シケレバナラヌ様ニナルカモ知レマセヌカラシテ、一寸簡單ニ、ドウ云フ動議デアルト云フコトヲ言ッテ、動議ヲ決議シタ上デ、大體ノ主意ヲ述ベラレシコトヲ望ミマス、ドウ云フ動議デ緊急ノ動議ニナルト云フ主意ヲ、御述べ下スツタラバ宜シカラウト思ヒマス

○議長(星亨君) 緊急ノ動議カ何カ聽カナケレバ、或ハ議事日程ヲ變更シケレバナラヌ様ニナルカモ知レマセヌカラシテ、一寸簡單ニ、ドウ云フ動議デアルト云フコトヲ言ッテ、動議ヲ決議シタ上デ、大體ノ主意ヲ述ベラレシコトヲ望ミマス、ドウ云フ動議デ緊急ノ動議ニナルト云フ主意ヲ、御述べ下スツタラバ宜シカラウト思ヒマス

議場デハナイ、我國ニ行ハレマセナダガ、此問題ニ妨ゲラレテ随分幾多ノ重要ナル問題モ停滯不流ノ有様デアリマシタ、甚ダ御互ニ迷惑シタ次第デアリマス、ドウカ斯様ニ他ノ問題ニマデ影響シテ、他ノ問題ノ停滯不流ヲ來サシメル様ナ問題ハ、一日モ早ク落著ク附ケタイト云フコトハ、御互ニ希望シテ居ルコトデアリマス、幸ニモ今日ニ於テ斯ル機運ニ及ビマシタカラシテ、ドウカ此問題ヲ一日モ早ク方附ケルコトヲ望ミマス、ツレニハ必ズ政府ノ方デハ、唯今大藏大臣ノ演説ニ依ツテ承レバ、三百七十五萬圓ハ……

○議長(星亨君) ツレハドウデスカ、ドウ云フ纏リガ附クノデアリマスカ、纏ラナケレバ差止メナケレバナリマセヌガ

○議長(星亨君) ドウカ少シ……

(地價修正問題ノ時ニ遣ッテハ如何ト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 議事日程ニ移ルヤ否ヤト云フ決ヲ採ラナケレバナラヌ、ツレアルカラ、ドウ云フ動議デアッテ、ドウ云フ事ニスルト云フコト丈仰タラ、決ヲ採リマスカラ、後トデ十分御述べナサイ、サウデナケレバ議長ハ困リマス、詰リ貴君ノ……

○議長(星亨君) 私ノ意味ヲ簡單ニ述ベマス、ドウカ今ノ中ニ此地價特別修正ニ關スル委員議員ノ中デ(笑聲起ル)一日モ早ク取定メテ、サウシテ此當局者ト宜ク協議ヲ遂ゲ、(無用々々ノ聲起ル)方附ケムコトヲ希望致シマス

○議長(星亨君) 宜シフゴザリマス、動議ガ出マシタケレドモ贊成ガゴザリマセヌカラ、是ハ則チ今日ハ是ヨリ議事日程ノ第一ニ移リマス

○議長(星亨君) 議事日程ノ第一辯護士法案ト云フ事ニ移リマスガ、朗讀ヲ致ス答ニナツテ居リマスガ、長ウゴザリマスカラシテ省キマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメニ掲載ス)

第一章 辯護士ノ資格及職務

第一條 辯護士ハ當事者ノ委任ヲ受ケ又ハ裁判所ノ命令ニ從ヒ通常裁判所ニ於テ法律ニ定メタル職務ヲ行フモノトス

第二條 辯護士タル欲スル者ハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

第一 日本臣民ニシテ民法上ノ能力ヲ有スル男子タルコト

第二 辯護士試験規則ニ依リ二回ノ試験ニ及第シタルコト

第三 辯護士試験ハ第一回ニ於テ學識ヲ試験シ第二回ニ於テ實務ヲ試験ス

第四 試驗及實務修習ニ關スル規則ハ司法大臣之ヲ定ム

第五 帝國大學法律科卒業生、舊東京大學法律學部卒業生、司法省舊法學校正則部卒業生及司法官試補タリシ者ニシテ辯護士ト爲ルニハ第一回ノ試験ヲ要セス

第六 判事檢事タル資格ヲ有スル者ハ試驗ヲ要セスシテ辯護士タルコトヲ得

第七 左ニ掲グル者ハ辯護士タルコトヲ得ス

第一 重罪ヲ犯シタル者但國事犯ニシテ復權シタルトキハ此限ニ在ラス
第二 定役ニ服スヘキ輕罪ヲ犯シタル者

第三 破産若クハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者

第六條 辯護士ハ報酬アル公務ヲ兼ヌルコトヲ得ス但帝國議會議員、府縣會常置委員ト爲リ又ハ官廳ヨリ特ニ命セラレタル職務ヲ行フハ此限ニ在ラス

辯護士ハ商業ヲ營ムコトヲ得ス但辯護士會ノ許可ヲ得タルモノハ此限ニ在ラス

第二章 辯護士名簿

第七條 各地方裁判所ニ辯護士名簿ヲ備フ

辯護士ハ其氏名ヲ登錄シタル地方裁判所ノ所屬トス但其所屬ハ一裁判所ニ限ル

刑事訴訟法第二百五十八條及第二百七十九條ノ所屬辯護士ハ受訴裁判所所在地ノ辯護士ヲ以テ之ニ充ツ

第八條 辯護士名簿ニ登錄ヲ願フ者ハ其所屬地方裁判所ノ檢事局ヲ經由シテ司法大臣ニ願書ヲ差出ス可シ

登錄願書ニハ第二條乃至第六條ノ事項ニ關スル證明書ヲ添フ可シ

第九條 登錄願ノ許可ヲ得タル者ハ登錄手数料トシテ金貳拾圓ヲ納ム可シ

他ノ地方裁判所ニ登錄換ヲ爲ストキハ手数料トシテ金拾圓ヲ納ム可シ

第十條 登錄ニ關スル規則ハ司法大臣之ヲ定ム

第三章 辯護士ノ權利及義務

第十一條 辯護士ハ其氏名ヲ辯護士名簿ニ登錄シタル後ニ非サレハ其職務ヲ行フコトヲ得ス

辯護士ハ登錄後三年ヲ經過スルニ非サレハ大審院ニ於テ其職務ヲ行フコトヲ得ス但三年以上判事檢事タリシ者ハ此限ニ在ラス

第十二條 辯護士ハ所屬地方裁判所管内、管轄控訴院及大審院ニ於テ其職務ヲ行フ但其取扱ヒタル事件他ノ裁判所ニ移サレタルトキハ此制限ニ拘ハラズ職務ヲ行フコトヲ得

本條ノ規定ハ特別法ニ依リ辯護士ノ特別裁判所ニ於テ其職務ヲ行フコトヲ妨ケス

第十三條 地方裁判所ノ辯護士不足スル場合ニ於テハ其裁判所ハ職權ヲ以テ又ハ申立ニ依リ近隣ノ地方裁判所所屬ノ辯護士ヲシテ職務ヲ行ハシメ又ハ其職務ヲ行フヲ許可スルコトヲ得

第十四條 辯護士ハ正當ノ理由ヲ證明スルニ非サレハ裁判所ノ命シタル職務ヲ行フヲ辭スルコトヲ得ス

第十五條 辯護士ハ左ニ掲クル訴訟事件ニ付キ其職務ヲ行フコトヲ得ス

第一 相手方ノ協議又ハ委任ヲ受ケタル事件

第二 判事檢事奉職中取扱ヒタル事件

第三 仲裁人ト爲リテ取扱ヒタル事件

第十六條 辯護士ハ訴訟利益ノ幾部ヲ受クヘキ契約ヲ爲シ又ハ係爭權利ヲ買受クルコトヲ得ス

第十七條 辯護士ハ訴訟事件ノ委任ヲ承諾セサルトキハ速ニ其旨ヲ委任者ニ通告ス可シ若シ通告ヲ怠リタルトキハ之カ爲メ生シタル損害ノ責任ヲ負フ

第十八條 辯護士ハ所屬地方裁判所又ハ其管内區裁判所所在地ニ事務所ヲ定メ之ヲ所屬地方裁判所檢事局ニ届出ツ可シ

一週日以上其事務所ヲ離ルハトキモ亦届出ツ可シ

第十九條 辯護士ハ登錄ノ際其職務上ヨリ生スル賠償及過料ニ充ツル爲メ保證金ヲ所屬地方裁判所ニ納ム可シ但保證金ニ缺額ヲ生シタルトキハ之ヲ納完スル迄ハ職務ヲ行フコトヲ得ス

保證金ハ百圓以上三百圓以下ノ範圍内ニ於テ各地ノ情況ニ從ヒ司法大臣之ヲ定ム

第二十條 辯護士ハ第一回試験及第者ヲシテ實務修習ノ爲メ法廷ニ於テ其職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第四章 辯護士會

第二十一條 辯護士ハ其所屬地方裁判所毎ニ辯護士會ヲ設立ス可シ

第二十二條 辯護士會ハ其所屬地方裁判所檢事正ノ監督ヲ受ク

第二十三條 辯護士會ニ會長ヲ置ク又副會長ヲ置クコトヲ得

第二十四條 辯護士會ハ毎年定期總會ヲ開ク又臨時總會ヲ開クコトヲ得

第二十五條 辯護士會ハ便宜ニ依リ常議員ヲ置クコトヲ得但會員二十人以上ヲ有スル辯護士會ニ於テハ之ヲ置クコトヲ要ス

第二十六條 辯護士會ハ其會則ヲ定メ檢事正ヲ經由シテ司法大臣ノ認可ヲ受ク可シ

辯護士ハ所屬辯護士會ノ會則ヲ遵守スヘシ

第二十七條 辯護士會會則ニハ會長副會長常議員ノ選舉及其職務、總會、常議員會及其議事ニ關スル規程、辯護士ノ風紀ヲ保持スル規程並ニ謝金ニ關スル規程其他會務ノ處理ニ必要ナル規程ヲ設ク可シ

第二十八條 會長、副會長及常議員選舉ノ結果、總會及常議員會開會ノ日時場所及議題ハ辯護士會ヨリ之ヲ檢事正ニ届出ツ可シ

第二十九條 辯護士會ニ於テハ法律命令又ハ辯護士會會則ニ規定シタル事項及司法大臣ヨリ諮問シタル事項ノ外議スルコトヲ得ス

第三十條 檢事正ハ辯護士會ノ會場ニ臨席スルコトヲ得又會議ノ結果ヲ報告セシムルコトヲ得

第三十一條 辯護士會ノ會議ニシテ法律命令及辯護士會會則ニ違フモノアルトキハ司法大臣ハ其議決ヲ無効トシ又ハ其議事ヲ停止スルコトヲ得

第五章 懲戒

第三十二條 辯護士ニシテ職務上ノ義務ニ違背シ又ハ信用ヲ失フヘキ所爲アルトキハ會長ハ常議員會又ハ總會ノ決議ニ依リ懲戒ヲ求ムル爲メ檢事正ニ申告ス可シ

檢事正ハ會長ノ申告ニ依リ又ハ職權ヲ以テ懲戒訴追ヲ檢事長ニ請求ス可シ

第三十三條 辯護士ニ對スル懲戒事件ニ付テハ管轄控訴院ニ於テ懲戒裁判所ヲ開ク可シ

第三十四條 懲戒罰ハ左ノ四種トス

第一 譴責

第二 百圓以下ノ過料

第三 一年以下ノ停職

第四 除名

第三十五條 懲戒處分ニ付テハ判事懲戒法ノ規定ヲ準用ス

附則

第三十六條 現在ノ代言人ハ本法施行ノ日ヨリ六十日以内ニ辯護士名簿ニ登錄ヲ願フトキハ試験ヲ要セスシテ辯護士タルコトヲ得

第三十七條 現在ノ代言人ハ本法施行前ニ委任ヲ受ケタル事件ニ付テハ其判決ニ至ルマテ所屬ニ拘ハラス職務ヲ行フコトヲ得

第三十八條 第十一條第二項ノ規定ハ現在ノ代言人ニ之ヲ適用セス

第三十九條 本法ハ明治二十六年五月一日ヨリ施行ス

明治十三年司法省第一號布達代言人規則ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

○郡保宗君(二百一十一番) 先刻本員ハ內務大臣ニ口頭ニ於テ陳辯セラレシコトヲ希望致シマシタ、(無用々々ノ聲起ル)單ニ私ガ此事ヲ口頭ヲ以テ陳辯ガ出來ヌ様デアリマシテハ、施政ノ方針ガ解リマセヌカラシテ、解ラナイ方針ダト認定致シマス、ソレ丈述ベテ置キマス

○議長(星亨君) 宜シウゴザリマス

○政府委員司法次官清浦奎吾君演壇ニ登ル

○政府委員清浦奎吾君 諸君、現行代言人規則ハ、明治二十三年ニ司法省布達ヲ以テ制定サレタモノデゴザリマシテ、其後ニ彼レ是レ不足モゴザリマシテ、或ハ達、或ハ訓令、或ハ布達等ヲ以テ多少ノ増補ヲ致シテアリマスケレドモ、要スルニ古イ家ニ修繕ヲ加ヘタモノト、一般デゴザリマシテ、前日ノ代言人ヲ支配スル規則トシテハ、稍ニ合ヒタルモノデゴザリマス、ケレドモ今日以後ノ辯護士ヲ支配スルノ規則トシテハ、尙ホ不完全タルコトヲ免レマセヌデゴザリマス、其規則ノ中ニ就イデ見マスレバ、他ノ法律ト調和ヲ缺イテ居ルヤウナ箇條モアツテ、現在將來ニ於ケル人文ノ程度ト相容レヌト云フヤウナ廉モ、少カラヌコトデゴザリマスデ、試ニ其一二ヲ擧ゲテ見マ

スレバ、一回ノ學術試験ニ、及第致シマスレバ、執務ノ修習ヲ經ズシテ直チニ學校ヲ去ッテ法廷ニ出テ、其職務ヲ行フト云フガ如キ、又代言免許ノ效力ハ

僅ニ一箇年ヲ限ルト致シマシテ、滿期後誤ッテ繼續願フナサナケレバ、代言

人ノ資格ヲ失ジテ、更ニ試験ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リ

マス、且ツ其業ヲ引續キ行フ所ノ者ヨリシテ、毎年拾圓宛ノ免許料ヲ徴ス

ルト云フヤウナ如キハ、其當ヲ失スルノ甚シキモノデアラウト考ヘル、今ヤ

此古キヲ改メテ、新キヲ制スルノ必要ハ、私ノ喋々ヲ要セスシテ明カナル次

第デ、既ニ本院議員タル所ノ元田君、外數名ヨリ昨日辯護士法案ヲ提出セラ

レタト云フコトヲ承ル位ノコトデアリマスデ、現行ノ規則ノ儘ニ棄テ置ケヌ

ト云フコトハ、賢明ナル諸君ニ於テモ亦必ス認メラル、コトデアラウト信

ジテ疑ヒマセヌ、辯護士法案ハ、司法機關ノ一デゴザリマシテ、名譽ノ華ヲ

翳ス所ノモノデゴザリマシテ、又法廷ニ於テ重要ノ職務ヲ行フ所ノモノデア

ル、貴重ナル我々ノ生命、財産、自由、名譽、此等ノ權利ハ、實ニ辯護士ニ

保護セラレ、其安固ナルコト其發達ヲ得ル次第デアリマス、是故ニ辯護士タ

ル者ハ、學識經驗共ニ具備スルバカリデゴザリマセヌ、且ツ其性行モ方正ニ

シテ社會ヨリ信用ト、敬愛ヲ受クル所ノ人物デナケラネバナラス、現今ノ代

言人規則ハ、此等ノ目的ヲ達スルニハ、甚ダ不十分デアアル、辯護士ノ學識經

驗共ニ備ハランコトヲ欲シマスレバ、試驗法ヲ密ニスルコトガ甚ダ必要デア

リマス、又辯護士ノ信用ヲ保タント欲シマスレバ、其監督及懲戒ヲ嚴ニスルコ

トガ最モ必要デゴザリマス、裁判所構成法ニ依リマスレバ、判檢事ニ就キマ

シテハ試験及修習ニ附イテ、嚴密ナル所ノ規則ガ備テアリマスル、而シテ

代言人タル所ノ者ハ、判事檢事ニ登用セラル、コトノ途ヲ開カレテアル、デ

現今ノ代言人ハ一回ノ試験ヲ經テ免許ヲ與ヘテアル、判檢事ハ二回ノ試験ヲ

要スルカラ若シ現行規則ノ儘デ代言人ヲ以テ裁判所構成法ニ、所謂辯護士ト

スルト云フコトデゴザリマスカラ、五年以上代言人タル者ハ、直チニ控訴院

判事ニ任ジ得ラル、ト云フコトヲ以テ、他ノ判事候補トナツテ第二回ノ試験ヲ

經テ五年ノ後僅ニ控訴院判事ニ補セラル、ト云フコトニ比シマスレバ、頗ル

權衡ヲ失スルト云フ勢ニ至リマスデ、其他訴訟延期ノ弊ヲ防ギマスデハ、

代言人ノ職務ヲ行フ區域ヲ定ムルト云フ必要モ亦已ムヲ得ヌ次第デアラウト

認メマス、又代言人ノ信用ヲ固ク致シマスデハ、幾分カノ保證金ヲ納メ

シムルト云フコトモ亦已ムヲ得ヌ次第デアラウト認メマス、此等ハ辯護士ノ

タメニハ、多少不自由ヲ感ゼラル、様ナコトモアルカ知レマセヌガ、又社會一

般訴訟ノ運行ノタメニハ、此等ノ規定ハ誠ニ已ムヲ得ザル次第デアラウト認

メマス

終ニ臨ンデ、一言申シマスガ、辯護士法案ハ、明治二十三年ノ十二月一日ヲ

以テ、政府ヨリ之ヲ貴族院ニ提出致シマシタデゴザリマシタガ、審議ノ末一

旦撤回トナリマシタ、其後深ク實際ノ得失ニ照シ、彼此ト修正ヲ加ヘマシテ、

實ニ之ヲ實施スルノ必要已ムベカラザルコトヲ認メマシテ二週年後ノ同月同

日ニ於テ、再ヒ本院ノ議ニ付セラル、場合ニ立到リマシタデゴザリマス、願

クハ諸君ノ協賛ヲ經テ、速ニ施行ニ至ランコトヲ希望シマス、且ツ逐條ニ附

屬

(八)

イテノ御疑問ニ對シテハ、夫々御答ヲモシ、且ツ又特別委員會ニ於テ其必要ヲ見マスレバ需ニ依ッテ夫々辯明モ致シマスデゴザリマセウデ、本員ハ辯護士法案ノタメニ辯護士トナッテ飽マデ辯明ヲ致シマス積リデゴザリマス

○野出錦三郎君(二百九十三番) 一寸御聽申シテ置キタイコトハ、辯護士法案ノ第三章二項ニゴザイマス所ノ「實務演習」デゴザリマスガ、此實務演習ハ、ドウ云フ方法デ致シマスカ又此演習ノ期限ト云フモノハ、ドレ程ノ期限ヲ御定メニナル御考デスカ(無用々々ト呼ブ者アリ)唯其事ニ附イテ……

○議長(星亨君) ソレハ委員會ヘ往クモノデアリマスカラ、委員會デ御質問ニナッタルドウカネ、サウ云フコトニ爲スツタラ……

○政府委員(清浦奎吾君) 折角御質問ガ出マシタノデスカラ、其事ヲ御答致シマス

○藤野政高君(百十七番) 私ハ、辯護士法案ヲ調査スベキ特別委員ノ數ハ九名ト定メ、其九名ハ議長ニ於テ指名セラル、コトノ動議ヲ起シマス

○議長(星亨君) マダ第二ニ移ッテカラガ宜カラウ

○藤野政高君(百十七番) 大抵最ウ宜カラウト、思ヒマシタ

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(星亨君) 議事日程ノ第二ニ移リマス即チ今ノ審査ノ……

○藤野政高君(百十七番) 今ノ動議ヲ提出致シマス

○議長(星亨君) 百十七番ノハ、ドウ云フノデスカ

○藤野政高君(百十七番) 總テ特別委員ノ數ヲ九名トシテ、其九名ハ議長ニ於テ指名セラル、コトヲ……

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) サスレバ異議ガゴザイマセヌ様デアリマスカラ、特別委員ハ九名トシテ、其指名ハ議長ニ任セルト云フコトニ決議シテ宜カラウト思ヒマス

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(星亨君) ソンナラバ、サウ決定シマス——、是ヨリ議事日程第三ニ移リマス、鐵道公債會計法……

第三 鐵道公債會計法案(政府提出)

○議長(星亨君) 朗讀致シマス

(町田書記官朗讀)

鐵道公債會計法

第三條 本法第二條ハ明治二十七年ヨリ施行ス

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) 一寸唯今ノ鐵道公債會計法ニ就イテ大體申上ゲマスガ、ドウモ是ハ特別會計ヲ一ツ設定致シマセヌト、餘程不便ナコトニナリマス、且ツ又鐵道公債ニ募リマシタ金ト云フモノハ、鐵道ニ用フルト云フコトハ當リ前ノ話デアリマスカラ、御承知ノ通之ヲ一般會計ニ入レマス、サウスルト鐵道ノ様ナ大事業デアリマスカラシテ、必ズ一年度ニ募リマシタ金ト云フモノヲ、一年度ニスツカリ拂切ルト云フコトモ六ヶ敷イ、時々不足モ生ジマセウガ、先ヅカウ云フ金ハ緩ククリシテ餘リガチノモノデアルト云フノハ、知レ切ッタコトデアリマスカラ、サウスルト一般會計ニ入レテ置キマス、ソレノ殘リ金ガアリマス、御承知ノ通ツレハ一般歲入ニ——、次ノ年度ニ繰入レルト云フコトニナッテ、一般會計ノ歲入ニ繰入レマス以上ハ仕方ナシ、一般ノ費用ニツレガ使用セラル、ト云フコトニ立至リマスカラ、サウスレバドウモ鐵道公債ノ募集金ノ使途ニ其目的ヲ誤ルト云フコトニナリマス、且ツ又六千萬圓ト云フ金ヲ以テスル仕事デアリマスガ、大抵此金ハ皆鐵道ニ使ハレルト云フコトデアリマスカラ、ソレ丈目的ガ立ツト云フコトデアリマスルニ、今ノ様ナ鹽梅ニ往ッテ一般會計ニ這入リ込ミマス、六千萬圓ト云フ目途モ立チマセヌカラ、ドウモ是ハ特別會計ヲ要スルデアラウト存ズルデス、ソレカラ又一般會計ニ依リマス、御承知ノ通前金前渡拂ナドト云フコトハ、ソレノ場合ガ指定シテアリマシテ、其場合ノ外ニハ出來ヌ譯ニモナリマス、此會計ニ依ッテ前金拂ガ出來ヌコトニシマス、餘程今度ハ其鐵道用品會計ノ方ニ於キマシテ、巨額ノ資本ヲ要スルト云フコトニ立至ル譯デアリマス、ソレハ鐵道會計ト云フモノハ何レ巨万ノ金デアリマスカラ、例ヘバ百萬圓ノ注文ヲ致シマスニ百萬圓ト云フ金ヲ前渡致シマスカラシテ以テ、鐵道用品製造所ノ處ニ於テ、或ハツレヲ以テ爲ス、ソコノ處ニ於テツレ丈ノ資金ヲ備ヘテ置カズトモ、此鐵道會計ノ公債ノ金ヲ其處ニ持ッテ往ッテ措ヘマス、其處ニ於テハツレ丈ノ資本ヲ備フルニ及ビマセヌ、是ハ次ノ法案ニ在リマスガ——、是ト關聯シテ居マスガ、其鐵道用品ト云フモノニモ資本ガ要リマス、ソコニ大資本ヲ備ヘタ以上ハ差支アリマセヌケレドモ、ドウモ少額ノ資本ヲ以テ僅ナ仕事ホカ出來ヌト云フノハ不經濟デアリマスカラ、旁、以テ特別會計ヲ要スルト思ヒマスカラ、願クハ滿場諸君此案ニ御贊同アラントヲ希ヒマス

○議長(星亨君) 別ニ御質問モナケレバ次ノ議事日程ニ……

○太田實君(七十四番) 此案モ委員ハ前例ニ依ッテ……

○議長(星亨君) マダ移リマスト云フ丈デ……

○都崎秀太郎君(七十九番) 議長……

○議長(星亨君) 前ノ方ニ質問ガアリマスカ

○都崎秀太郎君(七十九番) 第四デゴザイマス

○議長(星亨君) ソレナラ第四ニ移リマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○鈴木萬次郎君(六十一番) 是ハ各部選舉ニ願ヒマス

○議長(星亨君) 七十九番

○都崎秀太郎君(七十九番) 是ハ九名ニシテ各部一名ツ、選舉スル……

(贊成々々ノ聲起ル)

○平林九兵衛君(十八番) 此選舉ハ矢張前ニ倣ッテ議長ノ指名ニ願ヒタイ

(贊成々々ノ聲起ル)

○鈴木萬次郎君(六十一番) 議長決ヲ願ヒマス

○議長(星亨君) 十八番ノ方ヘ贊成ガアリマスカナ……、ドツチガ贊成カ分
ラナイ

○平林九兵衛君(十八番) アリマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) 全體今迄ノ例ニ依ルト、例ト云フト長イガ第三期ノ例
ニ依ルト、大抵各部ヲ通シテ九名ト云フ様ナコトガ、例ニナツテ居タヤウニ
思フ、依ッテ各部一名ト云フ方ガ變則カト思ハレル、依ッテ此方カラ先キニ
決ヲ採ルガ相當ト思フ、少シ疑義ガ生ジタカラ

(正則ダ明文ヲ如何セント呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 明文ハマダ見ナイ、先ヅ私ノ考ガ惡ルカッタ諸君ニ
問フトシテ、第一期第二期ハ知リマセヌガ、第三期ノ例ガ近イ、ソレハ各部
ヲ通シテ選ムト云フコトデアアルカラ、各部一名ト云フモノヲ以テ、第三期ノ
例ニハ違フカラ、議事ノ規則トシテハ……、議事ノ原則トシテハ、各部一名
ト云フ說ヲ先キニ決ヲ採ルコトニ致シマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) 各部一名ト云フコトニ贊成ノ御方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、依テ各部一名、即チ九名ヲ選舉スルコト
ニ極リマシタ

第五 官設鐵道用品資金會計法案(政府提出) 第一讀會

○議長(星亨君) 是ヨリ議事日程ノ第五ニ移リマス、朗讀ヲ致シマス

(町田書記官朗讀)

官設鐵道用品資金會計法

第一條 鐵道用品ヲ購入貯藏シ官設鐵道運輸營業竝ニ建設事業ノ需用ニ應

スル爲メ官設鐵道用品資金ヲ置キ特別ノ會計ヲ立テシム

第二條 官設鐵道用品資金ハ官設鐵道會計ノ据置運轉資本ノ内金百八拾萬
圓ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 鐵道用品資金ヲ以テ購入貯藏シタル物品ノ製作改製及修理ノ費用
ハ該資金ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第四條 官設鐵道用品資金會計ニ屬スル諸品ノ賣拂價格ハ其自然ノ損減歩
合製作改製及修理費竝ニ其附屬費用及購入ニ附隨スル諸費ヲ其購入原價
ニ加算シテ之ヲ定ムヘシ

第五條 官設鐵道用品資金特別會計ノ決算上該資金額ニ過剩ヲ生スルトキ
ハ其過剩金ヲ同年度一般ノ歲入ニ編入スヘシ

第六條 政府ハ毎年官設鐵道用品資金特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲
入歲出ノ總豫算ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第七條 鐵道用品資金特別會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ別ニ勅令ヲ以テ
之ヲ定ム

第八條 本法ハ明治二十七年年度ヨリ施行ス

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) 度々罷出マスガ本案ニ就キマシテモ一寸冀望ヲ
述ベテ置キマスガ、(簡單ニ願ヒマスと呼ブ者アリ) 從來ハ鐵道會計ト云フ
モノハ、實ハ供給者ト需用者ト云フモノガ一緒ニナツテ居マシテ、即チ營業
者物品ヲ需用スル、倉庫者物品ヲ供給スルモノデス、是ガ一緒ニナツテ……、
大層苦シウゴザイマシテ、サウシテ餘程六ヶ敷カッタ、勘定ガ分明ニナラズ、
六ヶ敷アルコトハ……、ソレト申スノハ餘程ドウモ需用者ト一緒ニナツテ居
リマスモノデアリマスカラシテ、例ヘバ一ツノ鐵道ト云フモノト其次ノ鐵道
ト云フモノ、用品トフ、同シ會計デ求メテ置キマスカラ、ソレデゴザイマス
カラ、ドチラニ遺ルト云フ區別ト云フモノガ、甚ダ困難デアリマス、ソレデ
今度ハ倉庫ト云フモノヲ一ツ建テ、ソレデ甲鐵道ニ出シ乙鐵道ニソレカラ
出スト云フト、甲ニハ是丈乙ニハ是丈ト云フ事ガ、キツチリ分カルト云フ便
利ガアリマスカラシテ、餘程此方ガ便利デアリマス、殊ニ是マデト違ッテ、是
カラ六千萬圓ト云フ巨額ノ金ヲ以テ鐵道ヲ經營シナクテハナラヌ、建設シテ
往カナクテハナラヌト云フ事デアリマスカラ、餘程夫レ等ノ勘定モ明白ニシ
ナケレバナラヌ、明白ニスルニハ自ラ其方法ガ無クテハナラヌコトデアリマ
スカラ、ドウモ此法案ヲ設定致シマシテ、サウシテ以テ特別ノ會計ヲ立テル
ト云フ必要ヲ感ジマスカラ、ドウカ是モ御贊成ヲ下サラントラ冀ヒマス

○議長(星亨君) 御異議ガ無ケレバ第六ノ日程ニ移リマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○魚住逸治君(百六十一番) 是ハ第四ノ委員ニ付託シテ宜シイト思ヒマス、
是ハ別ニ選ブ必要ハ無イト思ヒマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) 別ニ御異議が無イヤウデゴザイマスカラ、即チ百六十二番ノ動議ノヤウニ決シマス——スルト今日ハマダ早イヤウデゴザイマスカラ、一時休憩致シマシテ、部ニ於テ特別委員ノ選舉ヲ爲サレンコトヲ冀望致シマス

午後二時三十六分休憩

午後三時十七分開議

○議長(星亨君) 是ヨリ前ニ引續イテ會議ヲ開キマス——議案ノ報道

(水野書記官長朗讀)

政府ヨリ田畑地價特別修正法律案、所得稅法中改正追加法律案、酒造稅則中改正法律案、酒造稅則附則中改正法律案、明治二十二年法律第二十四號中改正法律案、烟草稅則中改正追加法律案、中央備荒儲蓄金元資繰入法律案ヲ提出セラレタリ

○議長(星亨君) 特別委員選舉ノ結果ヲ……

(水野書記官長朗讀)

辯護士法案審查特別委員ニ鳩山和夫君、元田肇君、小笠原貞信君、宮城浩藏君、三崎龜之助君、大岡育造君、藤澤幾之輔君、渡邊又三郎君、鐵道公債會計法案官設鐵道用品資金會計法案審查特別委員ニ佐々木松坪君、石阪昌孝君、杉村寬正君、外山脩三君、川眞田德三郎君、前田莞爾君、神輿知常君、内藤利八君、新井啓一郎君當選セラレタリ

○議長(星亨君) 明後日ノ議事日程ヲ報道致シマス

(水野書記官長朗讀)

議事日程 第三號 明治二十五年十二月三日(土曜日)

午後一時開議

第一 集會及政社法案(伊藤大八君外二名提出)

第一讀會

第二 新聞紙條例改正案(箕浦勝人君外二名提出)

第一讀會

第三 地租條例改正案(杉田定一君外二名提出)

第一讀會

第四 出版條例改正案(加賀美嘉兵衛君外二名提出)

第一讀會

○議長(星亨君) 是デ散會

午後三時二十分散會

